

道徳科学習指導案

令和元年 9月10日(火)

1年生

1 主題名 たすけずには いられない ころ

2 資料名 わきだした みず

【主たる内容項目：B友情、信頼 関連性のある内容項目：D生命の尊さ】

3 本時のねらい

友達を助けようと努力する人の生き方によさを感じ、自分も友達を大切にしていこうとする。

4 本時の展開

	学習活動	○主な発問 ◎中心発問 ・予想される児童の反応	・指導上の留意点
導入 (五分)	1. 本時の学習に興味・関心をもち、教材を読む意欲をもつ。	○困っている友達を手伝ったり、助けたりしたことはありますか。 ・けがをした友達を保健室に連れて行った。 ・勉強を教えてあげた。 ・「一緒に遊ぼう」と声をかけた。	・教材を読む意欲を持たせる。
展開 (三十分)	2. 「わきだした みず」の前半部分を読む。 (P59L11 まで) 3. 「わきだした みず」の後半部分を読む。 (P59L12～最後まで) 4. 助けてもらった魚たちの気持ちを考える。	○どうしてかには、あなをほろうと思ったのでしょうか。 ・こいやふなを助けてあげたい。 ・水を増やしてあげたい。 ○みんながかににだったらどうしますか。 ・石をけずる。 ・回り道をする。 ・あきらめる。 ◎かには どうして つかれた からだで いずみまでほりすすめたのでしょうか。 ・魚たちが苦しんでいるようすが頭に浮かんでくるから。 ・魚たちの命を助けてあげたいから。 ○魚たちは何と言っているでしょう。 ・かにさんありがとう！ ・生きられてよかった！！	・教科書は出さず、電子黒板の音声を活用する。 ・かにの状況について自分事として捉え、考えさせる。 ・何としても魚たちの命を助けたいと思うかにの心に気づかせる。 ・最初と最後の魚たちの表情の変容に気づかせる。
終末 (十分)	5. 振り返り	○今日の振り返りをしましょう。 【視点】 ・かにさんのよいところ、すごいところ ・これから自分がやってみたいこと	・視点を与えて振り返りを行い、数名に発表させる。

5 本時の評価 ・友達を助けようと努力する人の生き方のよさに気づくことができたか。
・自分もかにのように、友達を大切にしていこうとしているか。